

平成 19 年 12 月

日本樹木医会 神奈川県支部

(財)日本造園修景協会 神奈川県支部





神奈川県では、昭和 59 年（1984 年）に、「かながわの名木 100 選」が選定されております。これらの名木は地域のシンボルとして、また巨木、古木として、あるいは学問的に珍しい木として選ばれたもので、多くの人に親しまれ、それぞれに存在感を示している樹木です。

この名木 100 選の指定から早 23 年が経ちました。この間、これらの名木の診断・治療は、一部の名木に対して必要に応じて行われてきましたが、全体の統一した調査・診断は一度も行われず今日に至っております。

私たち樹木医に課せられた役割は、これらの巨木・古木が元気に後世に引き継がれていくようお手伝いすることではないでしょうか。せめて 10 年に一度は健康診断を行い、その都度、それぞれの木に対する適切な判断と対応ができるようになってほしいと考えております。その手始めとして、今回の全名木の調査に取り組んだ次第です。

また大樹の存在意義や緑の大切さについて認識を同じくする、(財)日本造園修景協会神奈川県支部との共同企画事業として、診断調査に取り組むことができました。

本報告書では、さまざまな状況下に置かれた名木の健康の度合いを説明しております。この現状を多くの人に知ってもらい、今後の保全や対策にぜひとも役立てていただきたいと願っております。そして「かながわの名木 100













